

単元名 **ボール運動(ゴール型)サッカー**配当時間 **8時間**

- 単元の目標 (1) ゴール型では、その行い方を理解するとともに、ボール操作とボールを持たないときの動きによって、簡易化されたゲームをすることができる。
- (2) ルールを工夫したり、自己やチームの特徴に応じた作戦を選んだりするとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。
- (3) 運動に積極的に取り組み、ルールを守り助け合って運動をしたり、勝敗を受け入れたり、仲間の考えや取組を認めたり、場や用具の安全に気を配ったりしようとする。

標準的な展開例

06100303_001

【準備等】 サッカーボール4号、ソフトサッカーボール、カラーコーン、学習カード、学習資料 など

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 サッカーのねらいと内容を確認し、学習の進め方について見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習のねらいや進め方を知る。 ★ 仲間からボールを受けやすい場所を見つけて、素早く動こう。 ○ 学習カードや資料の使い方を知る。 ○ マナーや安全な運動の仕方について知る。 ○ チームを編成し、役割を分担する。 ○ サッカーに関連した体ほぐしの運動をする。 ○ 試しのゲームをし、課題をつかむ。 <p>2～4 サッカーを基にした簡易化されたゲームをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 体ほぐしの運動をする。 ○ ドリルゲームをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ ドリブルリレー、パス競争など ○ ゲームの進め方の確認をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ ルール、マナー、対戦相手 ○ チームの課題や作戦を話し合う。 ○ 第1ゲームをする。 ○ 反省し、練習をする。 ○ 第2ゲームをする。 ○ 反省し、まとめをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 課題、作戦、マナーなど <p>5～6 チームに合った作戦を立て、ルールを工夫してゲームをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 体ほぐしの運動をする。 ○ ドリルゲームをする。 ○ ゲームの進め方の確認をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ ルール、マナー、対戦相手 ○ 対戦相手と、ルールについて話し合う。 ○ チームの課題や作戦を話し合う。 ○ 第1ゲームをする。 ○ 反省し、練習をする。 ○ 第2ゲームをする。 ○ 反省し、まとめをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 課題、作戦、練習方法、ルールなど <p>7～8 サッカー大会をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 体ほぐしの運動をする。 ○ サッカー大会をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 攻守が入り交じって主に足を使って行うゲームの特性を確認させる。 パス、ドリブル、シュートなどの基礎技能の大切さを確認する。 ・ 1チーム7～10人、男女混合で編成する。 ・ 1チーム1～2試合行う。 ・ 1試合各7分程度で行う。 ・ キック（パス、シュート）、ドリブルなどについてルールを簡易化したゲームを行う。 ・ いろいろなチームと対戦することを知らせる <p>＜ルールや場の例＞ 攻撃側のプレーヤーを増やす、守備側のプレーを制限する、グリッドコート、ミニコート 柔らかいボールなど</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 課題を立てられないチームには、話合いに教師が加わって助言する。 ・ ゲームの結果から、チームの課題に合った動きができていないチームやまとまりのないチームに助言していく。 ・ 第1ゲームとは別のチームと対戦させる。 <p>【評】 チームで協力してゲームをする活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 同じチームと2ゲーム行うことを知らせる。 ・ 相手チームとの話合いでルールや場の工夫がうまくいっているか確認する。 <p>＜ルールや場の工夫例＞ キーパーなし、グリッドコート、ボーナス得点など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 課題を立てられないチームには、話合いに教師が加わって助言する。 ・ ゲームの結果から、チームの課題に合った動きができていないチームやまとまりのないチームに助言していく。 ・ 第1ゲームと同じチームと対戦させる。 <p>【評】 チームに合った課題をもって練習する活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 練習の成果を確認させる。 ・ チームに合った作戦を立てさせる。

○第8時は、単元のまとめをする。

・チームでの話合いや学習カードによる自己評価などをさせる。

【評】ゲームを通して、「知識・技能」を評価する。

【 備 考 】

サッカーは、攻守が入り交じって主に足を使って行うゴール型のゲームである。本単元では、キック（パス、シュート）、ドリブルなどの基礎技能をドリルゲームなどで楽しく身に付けさせ、いろいろなチームとゲームを行う学習と対戦相手を決め、自分たちに合ったルールや作戦を工夫してゲームを行う学習を設定した。

＜運動が苦手な児童への配慮の例＞

・得点しやすい場所に移動し、パスを受けてシュートなどをすることが苦手な児童には、シュートが入りやすい場所に目印を付けたり、ボールを保持した際に最初にゴールを見ることを助言したりするなどの配慮をする。

・ボール保持者とゴールの間に体を入れて守備をすることが苦手な児童には、仲間がゴールの位置を教えるよ